

令和
6年度

京都府小児がん拠点病院 公開シンポジウム

～小児がん医療従事者研修事業～

京都府と2つの小児がん拠点病院では、小児がん医療の向上と、患者・家族への支援の充実等を目指して、公開シンポジウムを開催しています。

この度、**小児がんの晩期合併症がサバイバーに与える影響とその対策**をテーマに、小児がん患者とご家族が、そのライフステージに応じて長期的な対策をしていただけるよう、医療や相談支援の現状について、当事者の体験談を交えながらお伝えします。



日時

令和6年 **8月31日(土)** 14:00～15:45

参加無料(要申込)

会場

京都府立医科大学 広小路キャンパス
図書館ホール (附属図書館 2F)
(京都市上京区清和院口寺町東入中御霊町410)

アクセス

市バス：「府立医大病院前」下車 徒歩2分
京都市営地下鉄(烏丸線)：「丸太町駅」あるいは「今出川駅」下車 徒歩20分
京阪電車(京阪本線)：「神宮丸太町駅」下車 徒歩10分、
あるいは「出町柳駅」下車 徒歩15分

対象者

小児がん医療従事者、小児がん患者・ご家族、
教育関係者 等(一般参加可)

定員

会場200人 ※後日配信(要申込)があります。



本シンポジウムは日本医師会生涯教育制度カリキュラムの単位になります。【カリキュラムコード：10 チーム医療】【1.5単位】

テーマ

小児がんの晩期合併症がサバイバーに与える影響とその対策

コーディネーター 奥田 司 (京都府健康福祉部 保健医療対策監)

◆開会あいさつ

京都府健康福祉部

家原 知子 (京都府立医科大学附属病院 小児科)

◆講演(14時10分～)

小児がんの晩期合併症

梅田 雄嗣 (京都大学医学部附属病院 小児科)

小児がんサバイバーにおける成人期医療への移行支援

大曾根 眞也 (京都府立医科大学附属病院 小児科)

◆パネルディスカッション(14時50分～)

晩期合併症に関する相談支援について

小児看護専門看護師の立場から 川勝 和子

小児がんサバイバーの立場から 奥野 七夢

がん相談員(公認心理師・臨床心理士)の立場から 中井 友理子

小児がんサバイバーの立場から 清水 義仁

◆閉会あいさつ 滝田 順子 (京都大学医学部附属病院 小児科)

◆申込方法

QRコードから申込フォームに
必要事項を入力し、お申込み
ください

申込み方法等、不明点がある
場合はお問合せください。



◆参加申込・お問合せ

申込期限

8月31日会場参加を希望される方 8月26日(月)

後日配信を希望される方 8月28日(水)

お問合せ

京都府健康福祉部健康対策課がん対策係
TEL：075-414-4766 FAX：075-431-3970
E-mail：kentai@pref.kyoto.lg.jp

主催：京都府・京都府立医科大学附属病院・京都大学医学部附属病院

共催(予定)：京都桂病院・京都市立病院・舞鶴医療センター

後援(予定)：京都府医師会・京都府看護協会・京都府病院協会・京都私立病院協会・京都小児科医会・京都市

京都府では、京都府立医科大学附属病院及び京都大学医学部附属病院の2つの小児がん拠点病院を中心とし、地域の小児がん医療の質の向上、患者・家族への支援の充実等を目指してきました。令和元年度に、京都桂病院・京都市立病院・舞鶴医療センターが小児がん連携病院として指定され、小児がん患者の治療からフォローアップまでを地域で取り組む仕組みが構築されました。